



かけはし

Vol.122

2018年度

No.5

【ホームページアドレス】 <http://www.akunehp.com/>

当院は、地域医療の中核施設として人を大切にし、信頼される医療を目指します。



◆基本方針

1. 満足度の高い急性期高度医療の提供を目指します。
2. 十分な「説明と同意」による納得ある医療を心掛けます。
3. 「かかりつけ医」との密接な連携による医療を行います。
4. たゆまぬ学習と向上心による、より良い医療を目指します。
5. 公正で健全な運営を行います。

CONTENTS

*新年のご挨拶.....	1	*リハビリの窓.....	5
*薬の正しい飲み方・使い方.....	2	*外来診察表.....	6
*患者さんの権利と責務.....	2	*2月の出水郡医師会 日曜祭日当番医.....	7
*駐車場の適正利用についてお願い.....	3	*病院ボランティア募集.....	7
*ボランティア活動について.....	3	*医療機能情報提供について.....	7
*新人紹介.....	3	*お知らせ.....	7
*面会時間について.....	4	*編集後記.....	7
*献血のお知らせ.....	4		

広報誌「かけはし」は、当院のホームページでもご覧になれます。



新年のご挨拶

院長 今村 博

明けましておめでとうございます。

いよいよ平成最後の年がはじまりました。昨年度は診療報酬と介護報酬の同時改定など、医療界は変化の大きい一年でした。今年も平成天皇の退位と新元号への改元、消費税増税の実施など、社会にとっても医療にとっても変化の多い一年になりそうです。

昨年の厳しい医療環境の中、当院は泌尿器科と脳外科の医師の2名体制への増員や前鹿児島大学脳神経外科教授有田和徳先生の常勤医師としての赴任、鹿児島大学循環器内科大石充教授による月1回の特別外来の継続、そして11月からは呼吸器外科上田和弘准教授による月2回の呼吸器外科外来の開設など、ますます中核病院としての機能を充実させて参りました。「高齢化・核家族化が進む中、出水・阿久根・長島の住民の方々に都市部と変わりない質の高い、救急医療と高度医療を提供し、当地域の地域医療を守る」という当院の使命を職員全員で確認しつつ、今年もさらに前へと進んで行きたいと考えております。

さて、医師や看護師など医療に関わる人材が不足する中、現代の地域医療は各市や町単位ではもう機能しません。出水郡全体、つまり出水市、阿久根市、長島町をひとつとして考えて行かなければなりません。当院は平成25年に「出水郡医師会広域医療センター」へ名称を変更しました。これにより、当院は出水市、阿久根市、長島町の出水郡全体を医療

圏とし、この地域の二次・三次救急医療（心臓カテーテル治療や緊急手術など）と高度急性期医療（がん治療や内視鏡治療、各種待機手術など）を責任もって担っていくという役割を明確にしました。

つまりこれからの地域医療には、地域における医療の役割分担が重要です。日常の診療や検診、一次救急など地域に密着した役割と手術や心臓カテーテル治療、重症の救急患者への対応など医療資源を集中させた高度医療の役割です。当院が担っている高度医療の役割は、医療資源を集中するために病院の立地は必ずしも地域密着ではなく、多少距離がある場合もあります。出水市の住民の方々にはやや距離がありご迷惑をお掛けしていますが、現代のよりよい医療のあり方を理解していただき、当院を積極的に利用していただければと考えます。最近は自動車専用道路の開通で、便利さもずいぶん改善して来ていると感じています。

本年も出水市、阿久根市、長島町の地域医療のため、職員全員が全力で尽力してまいります。住民のみなさんご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





薬の正しい飲み方・使い方



◎「くすり」は適切に使ってはじめて有効で安全なものになります。

【内服薬】 コップ1杯の水かぬるま湯といっしょにのんで下さい。

主なくすりの服用時間

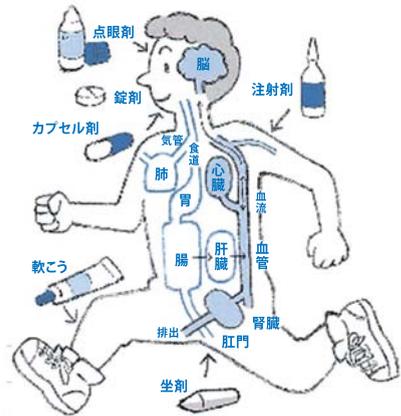
- 食前：食事のおよそ**30分前**に服用
- 食後：食事の後およそ**30分以内**に服用
- 食直前：食事の**直前**に服用
- 食直後：食後**直ち**に服用
- 食間：食事のおよそ**2時間後**に服用
- 時間毎：食事に関係なく**一定の間隔**で服用
- 寝る前：就寝直前：**就寝5～30分以内**に服用
- 頓服：**必要に応じて**服用

※あまり「30分」などにこだわる必要はありません。時間が多少ずれても、飲み忘れない事の方が大切です。

【軟膏】 手指をきれいに洗って、医師より指示のあった部位（症状のある部位）のみにお使い下さい。

【点眼剤】 汚染をさけるため、容器の先端がまぶたやまつげに触れないようにして1滴さして下さい。

さした後はまぶたを閉じ、まばたきをせずに1～2分間目をつぶって下さい。



【坐薬】 先のとがった方から肛門の奥へ見えなくなるまで入れて下さい。

(文責:石田)

患者さんの権利と責務

～出水郡医師会広域医療センターは患者さんの権利を尊重します～

- 1.だれでもが良質で安全な医療を受ける権利があります。
- 2.人としての尊厳は、全ての医療において尊重されます。
- 3.医療上の全ての個人情報保護されます。
- 4.検査や治療、薬の内容等については、十分な情報提供と説明を受けて、理解と同意に基づいた医療を受ける権利があります。
- 5.診療録等の内容については、本院の規則に基づき、情報開示を受ける権利があります。
- 6.自らの健康に関する情報は、医療提供者に早く、正確に伝える責務があります。
- 7.病院の諸規則を守り、他の方の療養や職員の業務に支障を来さないように配慮する責務があります。
- 8.他の医師や第三者の意見を聞き、納得した医療を受ける権利(セカンドオピニオン)があります。

駐車場の適正利用についてお願い



(図1)

当院の駐車区画の一部(図1の表示あり)は、「鹿児島県身障者用駐車場利用証制度(パーキングパーミット制度)」により、県が発行した利用証をお持ちの方が利用できることとしていますので、利用証をお持ちでない方の駐車は御遠慮ください。

利用証は、障害のある方や特に歩行が困難な方に対して、県が交付しています。利用証の申請などの詳しい内容については、県庁障害福祉課にお尋ねください。

<身障者用駐車場利用証制度とは>

公共施設や店舗などさまざまな施設に設置されている身障者用駐車場を適正にご利用いただくため、障害のある方や高齢の方、妊産婦の方など歩行が困難と認められる方に対して、県内共通の「身障者用駐車場利用証」を交付することで、本当に必要な人のための駐車スペースの確保を図る制度です。

ボランティア活動について

ボランティア活動の紹介をさせていただきます。

病院正面玄関前のプランターの花にお気づきの方も多いと思います。これはボランティアの方がお手入れしてくださっています。

この方は、「花で人の心を元気づけたい」との想いで平成28年9月に当院ボランティアに登録されました。登録後は季節の花を玄関前に準備され、週に2~3回の頻度で実にきめ細やかなお手入れを継続していただいています。現在は冬の花に植え替えされ、ご来院の方々の目を引き続き楽しませてくれています。

さて、このように当院では様々なボランティアの方を随時募集しております。興味のある方は最終ページの「ボランティア募集」をご覧ください、まずはお電話でお問い合わせいただければ幸いです。

また最後に、当院ボランティアの方々の献身的な活動に改めて深く感謝申し上げます。

(総務係)



がんばります。
地域医療に貢献できるように
よろしくお願ひします。

南曲 謙伍 鹿児島県出身

みなみまがり けんご

整形外科医師

病院の一員としてお役に立て
るよう頑張りたいと思います。
よろしくお願ひします。

田中 貴子 熊本県出身

たなか たかこ

消化器外科医師



面会時間について

現在、インフルエンザの感染拡大防止のため、
面会時間を制限しています。

■面会は、ご家族（1～2名）のみ

中学生以下、症状のある方は面会できません。

面会する方は、1階エレベーター前にて問診・体温チェックを行っております。

■面会できる時間は、ご家族でも

午前 11時～午後 1時

午後 5時～午後 7時

（室内への滞在時間は15分以内）

※ただし、手術や検査の待機、説明など病院からの連絡があった方は、職員へ
申し出てください。

※退院準備などでお越しの際は、直接病室へ入る前に職員にお声かけください。

※インフルエンザ流行状況により、対応が異なる場合がございます。

※終息までの間 ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

出水郡医師会広域医療センター 病院長



献血
しよう!

いつも、ご協力
ありがとうございます。

輸血用血液には、有効期限があります。
赤血球製剤では21日間、血小板製剤では4日間です。
人工的につくることができます。また、長期保存すること
もできないため、継続的なたご協力が必要です。
※平成25年4月より、輸送用のみの製剤であれば製法にて書かれた日数より短い
場合があります。[献血、製剤]による血液製剤の有効期限と判断されたらご留意ください。

献血の日
あなたの献血で助かる「いのち」があります
2月7日(木)【受付】13:30～16:00
出水郡医師会広域医療センター

鹿児島県赤十字血液センター TEL099(257)3141
インターネット献血情報 <http://www.bc9.org>

献血のお知らせ

下記の日程で献血が実施されます。
ご協力の程よろしくお願ひします。

日 時 平成31年2月7日(木) 13:30～
受 付 13:30～16:00
場 所 出水郡医師会広域医療センター

お問合せ先

鹿児島県赤十字血液センター TEL 099 (257) 3141

リハビリの窓 入浴について

普段何気なく入っているお風呂。すつきりしたり、疲れが取れなくなり気持ちの良いものですね。お風呂には沢山の作用と効果があります。これからお話しします、入浴の目的・効果・注意点を参考にして頂き、快適な入浴を楽しんで頂けたら幸いです。



★入浴の目的★

- ①皮膚の汚れを取り、身体を清潔にする。
- ②リラククス効果。良眠に繋がる。
- ③新陳代謝を促す。疲労回復に繋がる。心肺機能が向上する。利尿作用が働く。
- ④筋肉のこわばりが緩む。痛みが軽減できるので、関節を動かすことができる。水の抵抗も加わるため、筋力増強に向いている。
- ⑤感染予防

★効果★

- ①温熱効果：体は温められ、血液の循環が良くなり代謝が高まります。
- ②静水圧：水圧のポンプ作用で血液やリンパ液の流れがよくなります。ふくらはぎは全身の3分の1の血液が溜まると言われています。むくみも改善されます。また腹部にかかると水圧が横隔膜を押し上げて肺の容量を減少させるため、空気を補うために呼吸の回数が増え心肺機能が高まります。
- ③浮力：首まで浸かると、体重が約9分の1と軽くなります。身体が動かしやすくなります。

★入浴の際の注意点について★

○湯の温度による血圧変化
熱い(42度以上)湯では、血圧・心拍数ともに急上昇し、交感神経が優位になります。ぬるい(38〜40度)湯では、血圧・心拍数ともにゆっくり上がり、ゆっくり下降します。副交感神経が優位になってリラククス出

来ます。その為、ぬるめのお風呂に入ることをおすすめします。

○室内での温度差

冬の寒い浴室・脱衣所(10度以下)と暖かい居間(20度)や熱いお湯(42度)との温度差で多くの人が心疾患(狭心症等)や脳血管疾患による突然死を引き起こしてしまいます。その為、浴室・脱衣所を暖めておきましょう。かけ湯などして身体をならしてからゆっくりと湯船に浸かりましょう。

最近の浅くて長いお風呂では、身体が安定せず、浮いてしまいます。作業療法士やケアマネージャー、福祉住環境コーディネーター等から、浴室の環境についてアドバイスをもらいましょう。

脳や心臓などの大切な臓器の血流が少し減ってしまいます。長時間の入浴は、脱水や血液が固まりやすい状態を起こします。ので、脳梗塞・心筋梗塞を起こしやすい状態になってしまいます。1回の入浴でペットボトル

1本分の水分が失われてしまいます。入浴の前後で水分補給を行う必要があります。

湯の量が多く、首まで浸かっ てしまうと身体や内臓にも圧力を受け、身体にも負担がかかります。心臓や肺に疾患がある人は、半身浴で行うようにしましょう。湯船から出る時、心臓や脳にいく血流が減ってしまうので、立ちくらみを起こすことがあります。浴槽内で溺水、窒息することに繋がります。浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。

体重の軽い人、筋力が低下している人や麻痺があると浮きやすいです。溺れないように身体を固定したり、浴槽内の手すりにつかまったり、溺れないように環境調整をする等の工夫が必要です。

(文責：東新)



外来診察表

平成31年1月1日 現在

診療科目		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
循環器内科	午前	安崎 和博 田端 宏之	田端 宏之 沖野 秀人	福元 大地 沖野 秀人	検査日	安崎 和博 福元 大地 立石 繁宜	予約検査	
	大石 充 (鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学教授) 第3水曜日診察 ※都合により第4水曜日になる月もあります。							
(一般内科)	午前	(安崎・田端)		(福元・沖野)		(安崎・福元)		
心臓血管外科	午前		【第2】(熊本中央病院・心臓血管外科医)					
呼吸器外科	午前午後	上田 和弘 (鹿児島大学呼吸器外科准教授) 第2、第4木曜日 要予約/要紹介						
脳神経内科	午前	児玉 大介 (鹿児島大学病院)						
血液内科	午前午後				新居 亮彦 (鹿児島大学病院)			
眼 科	午前午後		鹿児島大学・眼科医				鹿児島大学・眼科医	
脳神経外科	午前	手術日	菅田 淳	菅田 淳	菅田 淳	検査日	予約検査	
	午後	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳	有田 和徳			
整形外科	午前	泉 俊彦 坂元 裕一郎 吉井 理一郎	手術日	坂元 裕一郎 南曲 謙伍	手術日	泉 俊彦 吉井 理一郎 鹿児島大学・脊椎専門医	予約検査	
	リウマチ外来・手の外科外来	午前午後		恒吉 康弘				
泌尿器科	午前	古郷 修一郎 岡村 俊介	手術日	古郷 修一郎 岡村 俊介	古郷 修一郎 岡村 俊介	古郷 修一郎 岡村 俊介	予約検査	
	放射線科	午前	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信	堀之内 信		
耳鼻咽喉科 (15:30まで受付)	午前午後		鹿児島大学・耳鼻咽喉科医			鹿児島大学・耳鼻咽喉科医		
消化器病センター	消化器内科	午前	紙屋 康之		紙屋 康之 銚之原 基	銚之原 基	予約検査	
	消化器外科 (外科)	午前	手術日	今村 博 田辺 元	手術日	今村 博 瀬戸山 徹郎 手術日		
	化学療法外来	午前	(今村 博)	實 操 二	(今村 博)	萩原 貴彦	消化器外科医	
	緩和ケア外来	午後		消化器外科医 (16:00~17:00)		消化器外科医 (15:00~17:00)		
	セカンドオピニオン外来	午後		今村/實 (16:00~16:30)				
	胃カメラ	午前	銚之原 基	紙屋/銚之原	熊本大学・消化器内科医		紙屋 康之	予約検査 (熊本大学・消化器内科医)
	大腸カメラ	午後	銚之原 基	紙屋/銚之原	熊本大学・消化器内科医		紙屋 康之	
	肝臓内科	午後	馬場 芳郎 (鹿児島厚生連病院/肝臓内科部長) 第1・3金曜日診察(受付 13:30~16:30) 要予約/要紹介					
乳腺外来	午前午後	吉中 平次 (鹿児島市立病院/乳腺外科部長) 第4火曜日診察(受付 9:00~16:00) 要予約/要紹介						

※各診療科・担当医の診察日を確認の上、「地域医療連携室」を通して御紹介下さい。(要予約・要紹介)
※ただし急患はこの限りではありません。

※一般内科は循環器内科と併用の診察となる為、待ち時間が長くなる場合がございます。

※消化器病センターのみセカンドオピニオン外来を設置、他科については通常外来の時間帯に随時対応。

2月の出水郡医師会 日曜祭日当番医

変更になる場合がございますので、受診される前に医療機関にお問い合わせ下さい。



月日	出水市	阿久根市	長島町
2月 3日(日)	よんだ泌尿器科クリニック TEL 63-7800 二宮医院 TEL 62-0167	いまむらクリニック TEL 73-1700	長島クリニック TEL 88-6405
10日(日)	よう皮ふ科医院 TEL 63-1112 東医院 TEL 67-1861	門松医院 TEL 64-6100	鷹巣診療所 TEL 86-0054
11日(月)	つかさとクリニック TEL 67-5560 吉田耳鼻咽喉科医院 TEL 62-0170	山田クリニック TEL 72-0420	平尾診療所 TEL 88-2595
17日(日)	高尾野診療所 TEL 82-0017 楠元内科医院 TEL 62-8600	北国医院 TEL 72-0016	鷹巣診療所 TEL 86-0054
24日(日)	来仙医院 TEL 84-2005 市川医院 TEL 63-3151	脇本病院 TEL 75-2121	長島クリニック TEL 88-6405

病院ボランティア募集

出水郡医師会広域医療センターでは、患者さんの生活の質の向上、地域の人々への病院理解、病院職員への啓蒙などを目的としてボランティアを募集しています。

活動内容

- 1 身の回りのお世話
花を生ける・水を替える、着湯のみの洗浄、下膳、お茶くみ、食事介助、洗濯、買い物、洗髪、入浴介助、床頭台の清掃、ゴミ捨て
- 2 話し相手
筆談、手話、本を読む等
- 3 その他
院内の案内、散歩に連れて行く、ベッドの移動、荷物の搬送、清拭タオルのローリング、草刈、花壇の整備等

(応募お問い合わせ)

出水郡医師会広域医療センター

総務課まで

TEL 73-13331
(内線 371-374)

※どうぞお気軽にお問い合わせください。

医療機能情報提供について

当院の病院機能やサービスについて県に報告したデータをもとに鹿児島県ホームページにて公開されております。閲覧も可能となっております。また、同内容を1階医療情報センター内で自由に閲覧できるよう冊子を配置しております。

鹿児島県ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/>

お知らせ

意見箱について

当院では、総合受付、各病棟の患者食堂など院内8カ所に意見箱を設置しております。当院へのご意見・ご要望などをお寄せ下さい。なお、回答・検討・改善事項を各フロアの掲示板に掲載していますのでよろしくお願い致します。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年も暖かい正月となり、初詣など外出の機会が増えたのではないのでしょうか?私の住んでいる集落では「鬼火たき」が1月3日に行われました。午前中は木や竹を皆で集めてやぐらを組み、昼過ぎに火をつけて集落の子供からお年寄りまで集まり無病息災を願い餅を焼き、傍らでは焼き鳥やウインナー等を焼いて子供たちに振る舞い、大人は鬼火の周りでビールや焼酎を飲みながらお互いコミュニケーションをとって夜まで盛り上がっていました。子供からお年寄りまで集う機会がある行事に参加して集落を盛り上げる事も大切な事だと思います。ここで一句「鬼火焚き 健康願い 餅を焼き」

本年も昨年同様、広報誌「かけはし」をよろしくお願い申し上げます。

(吉野)